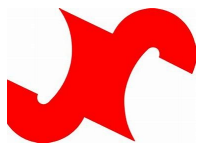


令和6年能登半島地震
令和6年奥能登豪雨

～創造的復興に向けて～
輪島市の現状と取組



令和7年7月18日
輪島商工会議所



1. 令和6年能登半島地震の輪島の現状

令和6年1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生。輪島市や志賀町で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6強や6弱の揺れを観測しました。

市内の避難者数は最大13,641人、住家被害は約6割にもおよぶ6,274棟もの住家が半壊以上になるなど、甚大な被害が発生しました。

人的被害

死者 216人

※ 災害関連死 115人含む

避難所・避難者数

避難所 最大190箇所

避難者数 最大13,771人

※令和7年3月31日閉鎖

住家被害

全壊 2,311棟

半壊 3,967棟

一部損壊 4,339棟

計 10,617棟

※ 半壊は中規模・大規模半壊含む、
一部損壊は準半壊含む

全壊22%
半壊37%
59%が半壊
以上の被害

住まいの確保と
生活再建の
支援が急務

応急仮設住宅 2,897戸

公費解体

完了率 76.5% ※7/7現在

受理数 12,492棟（うち完了9,560棟）



朝市エリアの焼失



高層ビルの倒壊



道路の崩落

2. 令和6年奥能登豪雨の輪島の現状

令和6年9月21日、線状降水帯が発生し、輪島市で1時間に121ミリの猛烈な雨を観測、大雨特別警報が発表されました。河川の氾濫や土砂崩れが発生、死者や不明者が相次ぎ、市内の孤立集落は99集落、約4,400人が一時孤立し、能登半島地震の仮設住宅が浸水するなど、再び大きな災害に見舞われました。降り始めからの48時間雨量は498.5ミリとなり、平年の9月の1カ月分の2倍に達しました。

人的被害

死者 11人

避難所・避難者数

避難所 最大40箇所

避難者数 最大1,047人

※ 令和7年4月13日閉鎖

住家被害

全壊 68棟

半壊 588棟

一部損壊 68棟

床上浸水 55棟

床下浸水 468棟

計 1,247棟

※ 住家被害認定調査件数

▶ 応急仮設住宅 264戸

※ 地震と合計すると3,161戸

【仮設住宅の被災状況】

床上浸水：199戸
(5団地)

床下浸水：477戸
(11団地)



市役所前の河川が氾濫



土砂に埋もれた自動車



流木が堆積した河川



床上浸水した仮設住宅

インフラの復旧も喫緊の課題

3. 復旧・復興への課題①

輪島市は、もともと人口減少と高齢化が進んでいる地域であり、震災前から人口は減少傾向にありました。そんな中、震災によって急激に人口が流出し、発災以降、2,924人、12.6%も減少しています。人口減少により地域の活力が奪われると、連綿と受け継がれてきた伝統や技術が途絶えてしまいます。

人口

R 6. 1月 23,118人

R 7. 7月 20,194人

増減率 ▲12.6%

転出者数

R 5 (1-12月) 930人

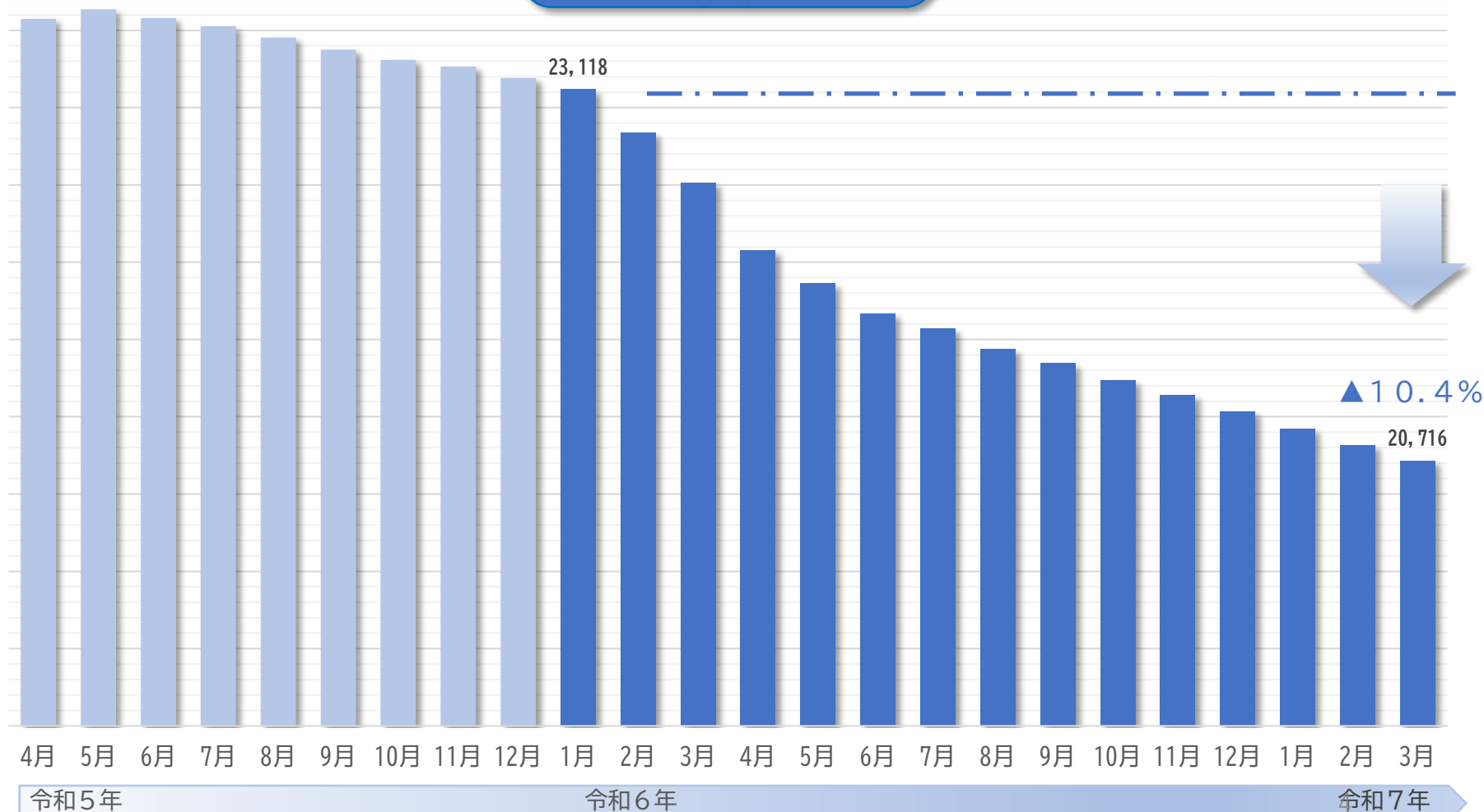
R 6 (1-12月) 2,013人

前年同期比 2.2倍



人口減少社会に適応し、
持続可能な輪島市の実現
に向けた取組が必要

人口推移 (人)



4. 復旧・復興への課題②

輪島市の特色ある生業である農林水産業や輪島塗、観光なども震災によって甚大な被害を受け、それぞれが復旧に向けて取り組んでいる矢先に豪雨による被害に遭い、さらなる休業等を余儀なくされました。

商工会議所職員

R5.12月 12人

R6.8月 7人

職員も被災者

現在は10人体制

商工会議所事務所も被災し再開めど立たず
輪島塗会館の研修室を間借りし仮事務所
R7.2月、現在の仮設事務所完成（移転）

営業再開状況

商業・工業 306 / 381 事業者 (80.3%)

漆器業 166 / 220 事業者 (75.5%)

観光サービス業 86 / 139 事業者 (61.9%)

その他 143 / 178 事業者 (80.3%)

計 701 / 918 事業者 (76.4%)

※ 令和7年4月14日現在 輪島商工会議所会員

宿泊施設の営業軒数

ホテル・旅館・民宿等 19 / 47 施設 (40.4%)

これまで輪島市の
産業を担ってきた
事業者の再建



市内で新たに起業・
出店する事業者の促進



生業の支援策が重要



被災した輪島商工会議所事務所



倒壊した旅館

5. 復興に向けた輪島市独自の主な取組ほか（地域を支える生業の再興）

農林水産業の再建

・農業機械再取得等支援事業

- ・農業用機械や建物などの再取得や修繕などについて国の交付金に上乗せ補助（補助率 9／10）

件数 910件

補助金額 31億円 ※ 見込み含む

※木材加工施設や漁船等も同様の支援



倒壊した倉庫と農機具

・被災した農地等の復旧

- ・災害復旧事業の負担割合を 農地 0％、農業用施設 0％に軽減

輪島塗の再興

・仮設工房の整備

- ・輪島塗の仮設工房を迅速に整備。
- 整備件数 85室（完成 85室）

・伝統工芸品産業支援事業

- ・輪島塗の製造に必要な原材料や設備などの費用を支援
- ・国の補助金に市独自で上乗せ支援（補助率 9／10）申請数 251件



輪島塗仮設工房

・海外への販路開拓

- ・輪島塗の世界進出に向けた取組に対する支援
- ※世界に向けた情報発信や高付加価値な商品開発などを1.5億円を予算化

・若手人材の養成施設の整備

- ・石川県、経産省、文化庁、DBJ、新聞社、漆器組合、輪島市で構想策定

商店街や事業者の支援

・仮設商店街の整備

- ・住民の暮らしを支える商店街について、仮設の商店街を整備
- 整備予定 13箇所 39店舗（完成 6箇所 23店舗）

・事業者のなりわい再建を上乗せ支援

- ・なりわい再建支援補助金 限度額 300万円

※工場、店舗などの施設や生産機械などの復旧

- ・小規模事業者持続化補助金 限度額 50万円

※営業再開に必要な施設の修繕、販路拡大の取組など

- ・営業再開支援補助金 限度額 50万円

※仮店舗や仮事務所、キッチンカーの取得など

・復興に向けチャレンジする新規出店者の支援

- ・地域の活力の創出を図るため、新規出店の補助額を大幅に拡大
- 補助額：最大1,000万円／件

観光産業の復興

・市外での観光物産を後押し

- ・出張朝市などの催事開催を支援

・被災した宿泊事業者の再建

- ・市内経済や地域の活性化に寄与する宿泊施設の再生を支援
- 補助額：最大2,000万円／軒（なりわい補助金の上乗せ）



出張輪島朝市

6. 補助金申請、経営支援などの相談窓口機能の強化（今、一番必要とされている）

- 発災以降、国、石川県、輪島市の各種支援施策が立て続けに示されましたが、被災事業者がこのような支援制度を活用し再建に向けて動き出すには、そのサポート体制が欠かせません。

生業の再建には相談窓口の継続を！

■課題として、事業者は…

1 何から始めればいいか

- ・ 現在、自身が置かれている状況において、最適な取組は何か。
- ・ どの補助制度を使えばいいのか。
- ・ さっぱりわからない…

2 気軽に相談できるが必要

- ・ とりあえず聞いてみよう
- ・ 今残っているものや写真など持ってお越しく下さい。
- ・ 個別相談（予約制で気兼ねなく）

3 一歩前進

- ・ 大変な状況は変わらないけど、少し先が見えた
- ・ 目的に応じた複数の相談体制、伴走支援 ⇒ 気持ちが前を向く



経済産業省、石川県から専門員
※週2日常駐＜相談＞

中小企業診断士（輪島塗支援）
※週4日常駐＜サポート＞

輪島商工会議所

日商（全国の商工会議所）
県連経営指導員※常駐＜サポート＞

専門家・よろず相談※週2日
行政書士等※毎月曜＜サポート＞



新しく整備した輪島商工会議所事務所

ご清聴
ありがとうございました